

平成30年度 文京区障害者基幹相談支援センター 実績報告

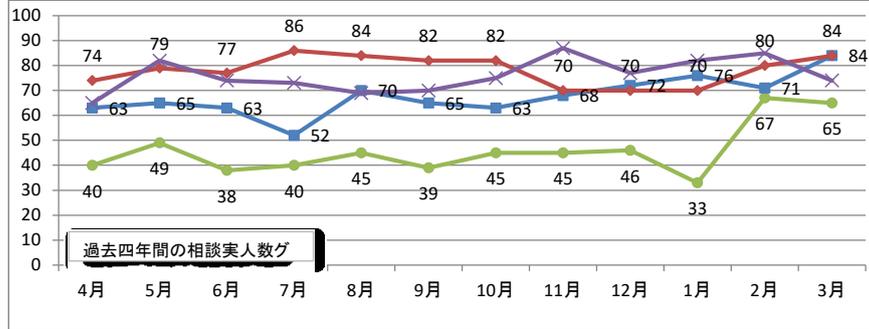
1.総合相談支援業務

(1) 相談実人数 H30年度:のべ913人(H29:938人。前年度比97.33%)

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
		相談実人数	27年度	40	49	38	40	45	39	45	45	46	33	67	65
	28年度	63	65	63	52	70	65	63	68	72	76	71	84	812人	67.67人
	29年度	74	79	77	86	84	82	82	70	70	70	80	84	938人	78.17人
	30年度	65	82	74	73	69	70	75	87	77	82	85	74	913人	76.08人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
		上記相談実人数のうち、新規相談者数	27年度	21	20	12	16	14	13	9	16	7	12	20	18
	28年度	24	18	16	38	21	13	15	15	17	21	12	10	220人	18.33人
	29年度	14	17	10	26	24	17	22	11	10	12	19	15	197人	16.42人
	30年度	8	14	7	10	9	10	19	15	10	13	16	7	138人	11.50人

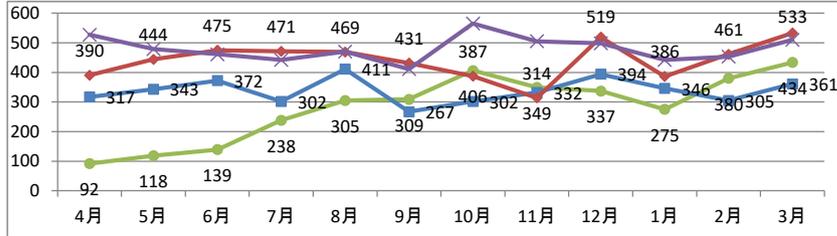


・相談実人数は初めて前年度より減。内訳としての新規相談者数は、過去4年間で最低数。周知の課題なのか、対応力の課題なのか、純粋に要支援者が減ったのか、精査が必要。

(2) 総相談件数 H30年度:のべ5,763件(H29年度 5,280件。前年度比 109.15%)

単位:件

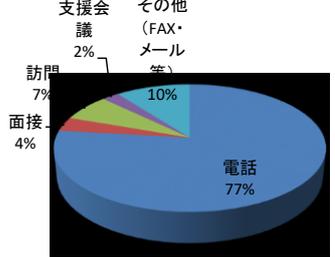
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
		総相談件数	27年度	92	118	139	238	305	309	406	349	337	275	380	434
	28年度	317	343	372	302	411	267	302	332	394	346	305	361	4,052件	337.67件
	29年度	390	444	475	471	469	431	387	314	519	386	461	533	5,280件	440.00件
	30年度	527	479	461	442	470	411	565	505	498	442	453	510	5,763件	480.25件



・総相談件数は過去最高。相談実人数と併せて考えると、一人一人の相談回数が増えていることがわかる。これは、困難度が増したから、というよりは、何らか次のステップを踏みだし、より丁寧な対応をした結果、と考えられる。

(3) 相談方法別相談件数 (件)	30年度		29年度		28年度		27年度	
	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率
電話	4,427	76.82%	4,006	75.87%	3,051	75.30%	2,362	69.84%
面接	208	3.61%	260	4.92%	282	6.96%	301	8.90%
訪問	393	6.82%	490	9.28%	381	9.40%	512	15.14%
支援会議	138	2.39%	130	2.46%	126	3.11%	89	2.63%
その他(FAX・メール等)	597	10.36%	394	7.46%	212	5.23%	118	3.49%
合計	5,763	100%	5,280	100%	4,052	100%	3,382	100%

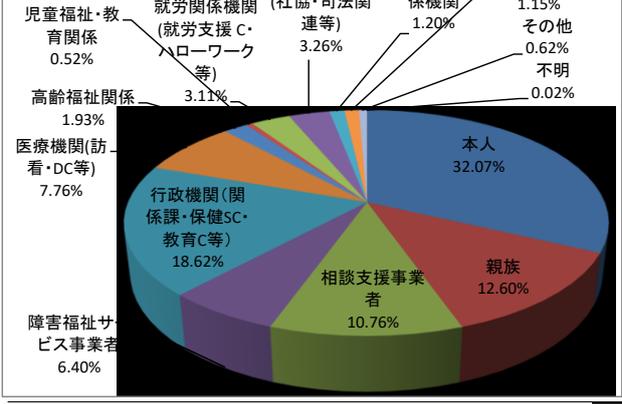
(3) 相談方法別相談件数



・電話件数、FAXやメールでのやりとりが増加し、面接や訪問件数は減っている。精神科病院からの退院支援が増えており、関係機関との連絡調整が増えている、と考えられる。

(4) 相談者の内訳 (人)	30年度		29年度		28年度	
	実数	年度割合	実数	年度割合	実数	年度割合
本人	1848	32.07%	1,729	32.75%	1,144	28.23%
親族	726	12.60%	748	14.17%	781	19.27%
相談支援事業者	620	10.76%	379	7.18%	255	6.29%
障害福祉サービス事業者	369	6.40%	315	5.97%	175	4.32%
行政機関(関係課・保健SC・教育C等)	1073	18.62%	1,119	21.19%	771	19.03%
医療機関(訪問・DC等)	447	7.76%	357	6.76%	274	6.76%
高齢福祉関係	111	1.93%	208	3.94%	200	4.94%
児童福祉・教育関係	30	0.52%	38	0.72%	9	0.22%
就労関係機関(就労支援C・ハローワーク等)	179	3.11%	122	2.31%	105	2.59%
権利擁護関係(社協・司法関連等)	188	3.26%	132	2.50%	204	5.03%
その他福祉関係機関	69	1.20%	27	0.51%	26	0.64%
地域住民等	66	1.15%	24	0.45%	28	0.69%
その他	36	0.62%	76	1.44%	74	1.83%
不明	1	0.02%	6	0.11%	6	0.15%
合計	5,763	100.0%	5,280	100.0%	4,052	100.0%

(4) 相談者の内訳

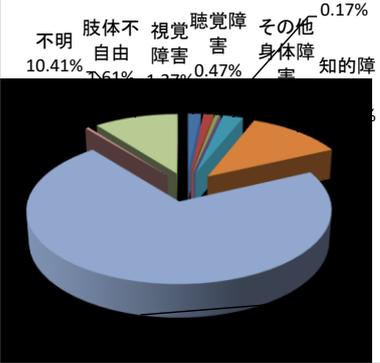


・退院支援に関する、医療関係機関や相談支援事業所とのやりとりが増加。

(5) 相談内容にかかる障害種別 (件)	30年度		29年度		28年度		27年度	
	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率
肢体不自由	93	1.61%	95	1.80%	85	2.10%	173	5.12%
視覚障害	73	1.27%	152	2.88%	123	3.04%	300	8.87%
聴覚障害	27	0.47%	8	0.15%	62	1.53%	210	6.21%
内部障害	10	0.17%	178	3.37%	67	1.65%	31	0.92%
その他身体障害	145	2.52%	95	1.80%	87	2.15%	11	0.33%
知的障害	693	12.02%	602	11.40%	350	8.64%	377	11.15%
精神障害	4099	71.13%	3,804	72.05%	3,053	75.35%	2,130	62.98%
難病	23	0.40%	45	0.85%	19	0.47%	30	0.89%
不明	600	10.41%	301	5.70%	206	5.08%	120	3.55%
合計	5,763	100%	5,280	100%	4,052	100%	3,382	100%

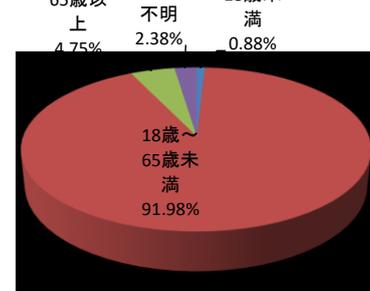
・相変わらず精神障害者の割合が多い。件数は、27年度の倍近くにまで膨れあがっている。

(5) 相談内容にかかる障害種別



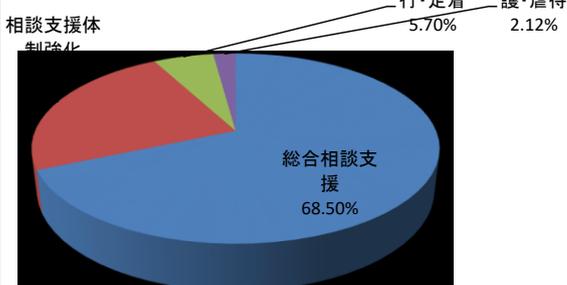
(6) 年代別相談件数 (件)	30年度	29年度	28年度	27年度
18歳未満	51	99	100	93
18歳～65歳未満	5301	4,545	3,346	2,912
65歳以上	274	561	579	367
不明	137	75	27	10
合計	5,763	5,280	4,052	3,382

(6) 年代別相談件数



(7) 相談内容の分類 (件)	30年度	29年度	28年度	27年度
総合相談支援	8,438	7,401	5,526	4,424
相談支援体制強化	2,917	2,702	2,259	1,231
地域移行・定着	702	535	186	368
権利擁護・虐待	261	125	234	163
合計	12,318	10,763	8,205	6,186

(7) 相談内容の分類



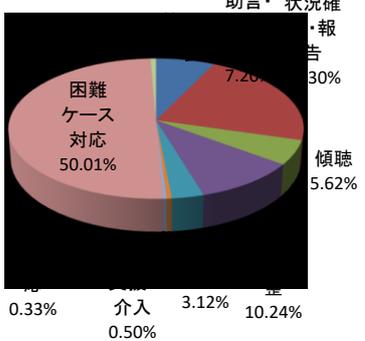
・地域移行・定着は着実に増えてきている。
・権利擁護に関する動きが増え、社協権利擁護センターや補助人・補佐人等とのやりとりも増えている。

(相談内容が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させるため相談件数とは一致しない。必要な場合は3項目まで可)

(8) 相談対応 (件)	30年度		29年度		28年度		27年度	
	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率	実数	前年度からの増加率
説明・助言・情報提供	415	7.20%	467	8.84%	409	10.09%	432	12.77%
状況確認・報告	1285	22.30%	888	16.82%	838	20.68%	879	25.99%
傾聴	324	5.62%	315	5.97%	150	3.70%	111	3.28%
支援内容等調整	590	10.24%	525	9.94%	589	14.54%	309	9.14%
支援方針検討	180	3.12%	150	2.84%	183	4.52%	156	4.61%
直接支援・介入	29	0.50%	36	0.68%	68	1.68%	63	1.86%
緊急対応	19	0.33%	82	1.55%	57	1.41%	35	1.03%
困難ケース対応	2882	50.01%	2,773	52.52%	1,708	42.15%	1,387	41.01%
その他	39	0.68%	44	0.83%	50	1.23%	10	0.30%
合計	5,763	100%	5,280	100%	4,052	100%	3,382	100%

・困難ケース対応件数の伸び率は落ち着いてはきた。

(8) 相談対応

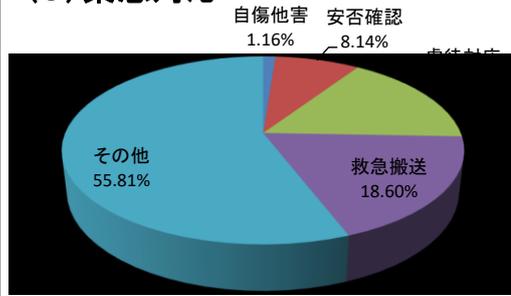


(9) 緊急対応・困難ケースの対応

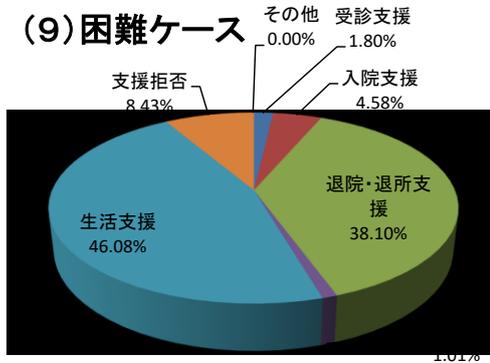
		(件)			
		30年度	29年度	28年度	27年度
緊急 対応	自傷他害	0	1	2	4
	安否確認	1	7	7	27
	虐待対応	7	14	36	1
	救急搬送	7	16	5	6
	その他	4	48	14	2
計		19	86	64	40

・「緊急」に関しては、一番穏やかな1年だった。

(9) 緊急対応



(9) 困難ケース



		(件)			
		30年度	29年度	28年度	27年度
困難 ケース	受診支援	52	211	232	184
	入院支援	132	137	26	35
	退院・退所支援	1098	813	440	212
	後見支援	29	3	14	2
	生活支援	1328	1,329	761	792
	支援拒否	243	236	125	151
	その他	0	40	103	6
計		2882	2,769	1,765	1,382

※困難ケース対応は、次に該当する事例を集計している。

- ア 身体状況が重篤にもかかわらず入院や受診を拒否し、説得を続けるために時間を要した場合
- イ 利用者又は介護者等の状況から障害福祉サービス等の導入を要するにもかかわらず、利用者本人又は介護者等が拒否し、説得に時間を要した場合
- ウ 精神疾患等により理解力が低下しているため、繰り返しの説明や支援が必要で時間を要した場合
- エ 受診、入院又は施設等への入退所に向けて家族等に依頼できない(遠方や非協力的)場合で、受診、入院又は入退所に支援が必要で時間を要した場合
- オ 体調の急変により食事が摂れていないなど、やむを得ず身の回りに関しての支援で時間を要した場合
- カ 精神疾患等により片付けられないため室内が不衛生状態等で、支援が必要で時間を要した場合
- キ 成年後見、安心サポート利用等に関し、説明に時間を要した場合又は必要書類を探すために室内に入り時間を要した場合並びに手続等の支援に時間を要した場合

2. 開催講座・会議等件数等

	30年度	29年度	28年度	27年度
出席会議	123	121	116	147
支援会議開催	21	35	28	30
支援会議参加	117	95	98	59
参加研修	65	52	69	73
出張講座	1	1	1	5
基幹周知活動	8	15	23	44
ピアサポート	38			

- ※ 児童青少年課主催研修講師(発達障害の理解)
- ※ 主に事業見学対応。
- ※ 実績報告別紙「30年度ピアサポート(結果)」参照